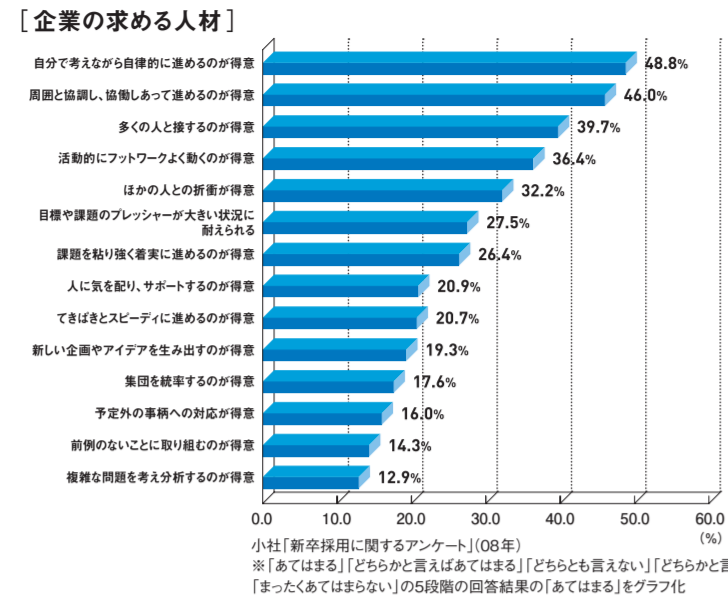


企業が求めるのは自律性やコミュニケーション能力



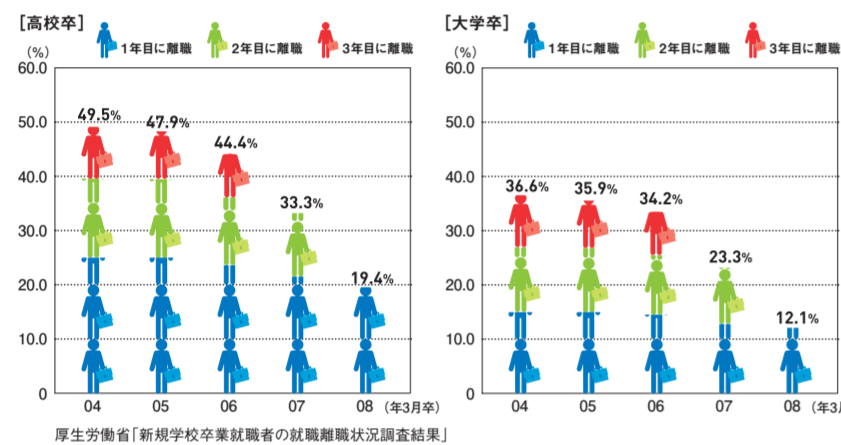
DATA 04

雇用と働く人の現状は？

新卒採用活動において企業が求める人材像をたずねた調査で、14の設定項目のうち「あてはまる」の回答が最も多かったのは「自分で考えながら自律的に進めるのが得意」。そのほか、コミュニケーション、粘り強さやストレス耐性などの精神面の強さに関する項目も多い。

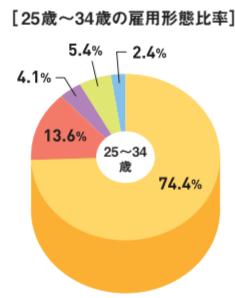
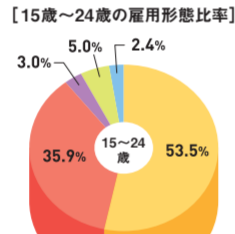
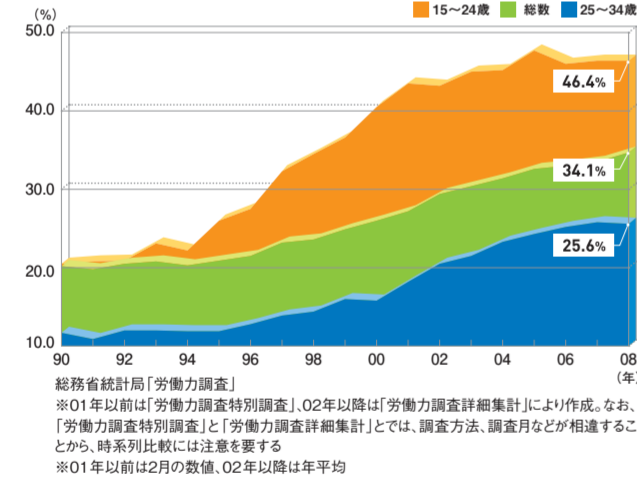
就職しても、3年以内に3~4割が離職

【高卒者と大卒者の離職状況】



働き方の多様化がますます進んでいる

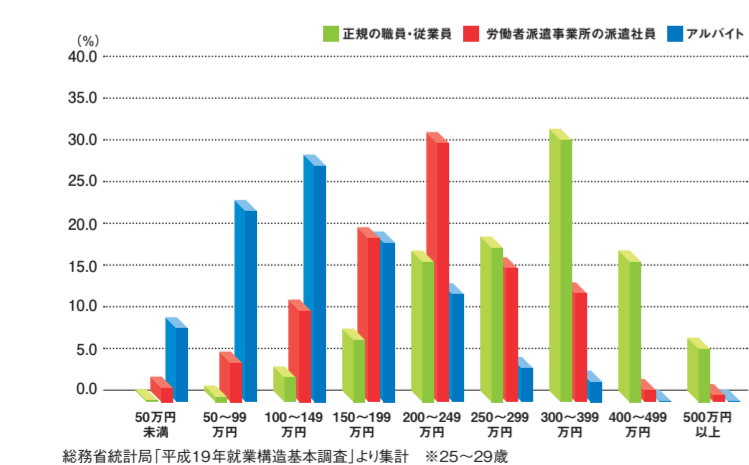
【年齢層別の非正規従業員比率】



雇用形態の多様化が進んでいる。非正規職員・従業員の比率の推移を見ると、20年前は2割程度だったが、現在はおよそ3人に1人。15~24歳に限ると、半数近くが非正規という状況だ。その多くがパート・アルバイトだが、派遣社員や契約社員といった働き方も見られる。

雇用形態で変わる年収額

【正規雇用・派遣社員・アルバイトの年収】



雇用の形態によって、年収に大きな差が見られる。同じ25~29歳で1年間に得た税込みの給与総額(年収)を比べると、正規の職員・従業員で最も多いのは300~399万円だが、派遣社員は200~249万円、アルバイトでは100~149万円が最多。アルバイトの約6割は150万円未満という厳しさだ。

クラス担任から生徒・保護者に提供したい

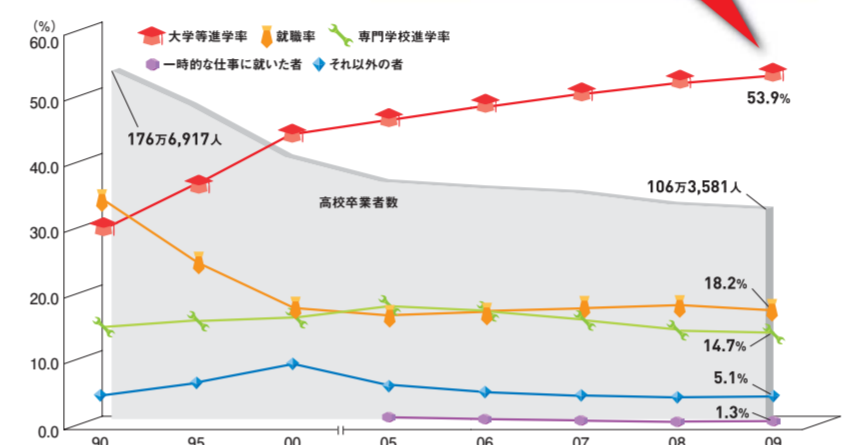
進路環境DATA

2010

高校生が進路を考えるうえで知っておきたいデータを一挙に掲載。

大学進学率が54%で過去最高を更新

【高卒時の進路状況】



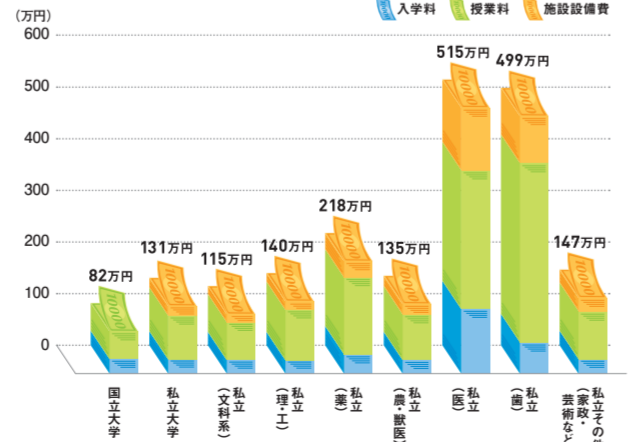
2009年3月の高校卒業者は106万3581人。大学等への進学率は53.9%で、過去最高を更新した。この年上昇が続いた就職率は、前年より0.8ポイント低下して18.2%。アルバイトやパート等の「一時的な仕事に就いた者」、進路未定など「それ以外の者」は、それぞれ前年よりわずかに上昇した。

DATA 05

進学費用はどれくらいかかる？

これだけ違う。国立vs私立、文系vs理系

【大学の初年度納付金】



入学した年に大学に納める平均的な金額は、国立で82万円、私立で131万円だ。学部学科系統別に見ると、文系より理系系のほうが施設や実習等に費用がかかるため高額となる傾向がある。このほか、入学までには受験料や受験のための交通・宿泊費、場合によっては併願校への納入金など必要だ。

専門分野により学納金に約100万円の差

【専門学校の初年度納付金】

学科区分	入学金	授業料	実習費	設備費	その他	合計
情報処理	18.1	58.5	16.9	25.3	1.5	120.3
電気・電子・機械、その他	22.4	69.6	7.9	25.2	7.0	132.1
看護	15.8	54.0	5.9	7.1	5.0	87.7
理学療法、作業療法	40.0	95.9	13.5	28.4	3.6	181.4
はり・きゅう・あんまマッサージ指圧	46.2	112.8	2.3	13.9	4.2	179.4
栄養、調理	18.2	58.5	27.9	19.5	5.9	130.1
美容、美容	11.9	51.8	20.9	21.6	18.4	124.6
保育、教育	18.0	55.7	6.1	14.9	6.7	101.4
介護福祉	15.8	63.0	10.4	14.1	4.0	107.3
簿記・ビジネス・IT	12.1	64.7	5.6	14.7	2.6	99.7
服飾・家政	19.3	58.7	3.0	15.6	6.0	102.4
語学	12.4	80.1	2.5	14.3	2.5	111.8
美術、デザイン、写真	18.3	77.1	7.9	18.4	7.6	129.4
動物	20.0	48.2	23.6	23.0	8.6	123.4

東京都専修学校各種学校協会「平成21年度 学生・生徒納付金調査結果」専門課程(専門学校)平均(昼間部)より抜粋
※各科目ごとの平均値を集計しているため、横の合計は一致しない。千円未満を四捨五入

学費以外にも年間数十~数百十万円必要

【大学生の年間生活費】

区分	自宅		下宿・アパート・その他	
	国立	私立	国立	私立
収入				
家庭から	701,900	1,300,200	1,389,700	2,053,900
奨学金	204,800	256,400	292,700	368,200
アルバイトほか	359,800	451,900	328,100	370,700
合計	1,266,500	2,008,500	2,010,500	2,792,800
支出				
授業料など学費	556,100	1,167,200	569,000	1,285,900
課外活動費	40,600	38,600	47,800	47,100
通学費	103,200	110,900	21,100	33,300
学費計	699,900	1,316,700	637,900	1,346,300
食費	99,200	107,100	300,100	287,200
住居・光熱費	-	-	529,400	510,300
その他日常費	246,000	294,100	301,600	323,400
生活費計	345,200	401,200	1,131,100	1,120,900
合計	1,045,100	1,717,900	1,769,000	2,467,200

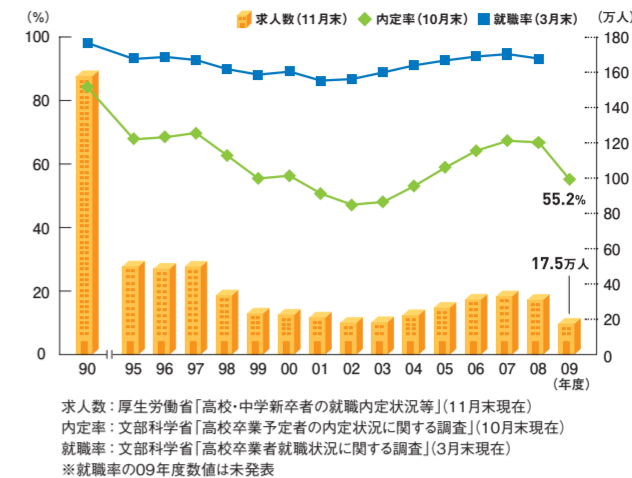
日本学生支援機構「平成18年度学生生活調査結果」(大学・昼間部)より算出

専門学校の初年度納付金は、学科系統によって平均100万円程度から200万円近くまで幅がある。授業内容や必要実習・設備が、学科によって異なることが影響している。また、同じ学科系統でも学校によって違いが大きいため、志望校について個別に調べて確認したい。

学費のほか食費や住居費等も含めた大学生の年間生活費(支出)は、「下宿・アパート・その他の私立大学生」が最も高額で約247万円。これは平均値なので、もっとかかる場合もある。また、収入の多くは家庭から得ているが、奨学金やアルバイトでまかなう割合も小さくない。

求人数は今年の6割以下に減少

【高卒者の求人数と就職(内定)率】



17.5万人

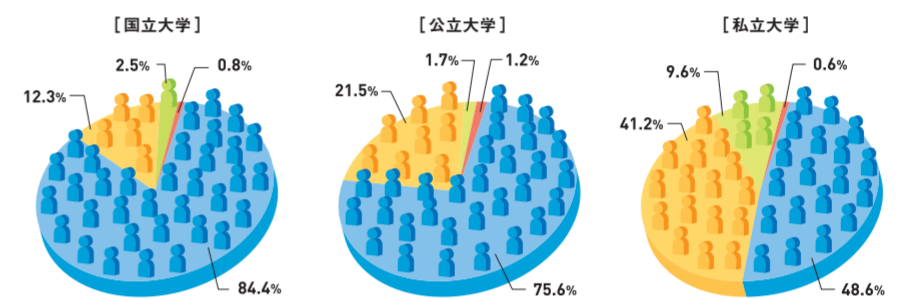
DATA 01

高卒就職の動向は？

雇用情勢の悪化から、高卒就職が厳しさを増している。09年度11月末時点の求人数は前年の6割以下に減少、10月末時点の内定率は前年より12ポイント低い。こうした状況を受けて、企業への求人情報や未就職者への職業訓練など、緊急支援に乗り出す自治体も出ている。

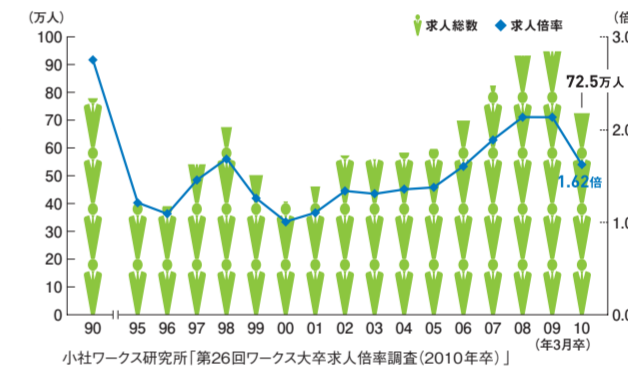
AO・推薦入試での入学者増加。私立大では約半数

【大学入試方法別の入学者の割合】



景気が影響。求人総数・求人倍率が減少

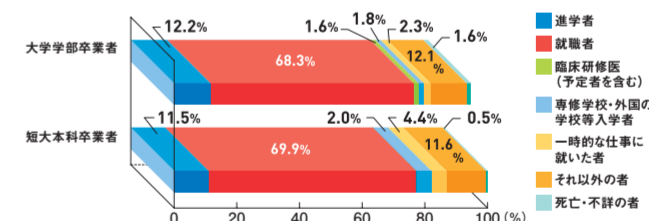
【大卒者の求人総数と求人倍率】



求人総数や求人倍率は、景気の影響で大きく変動する。今春卒の求人倍率は前年2.14倍から1.62倍に低下。05年頃までの「就職氷河期」に迫る状況だ。求人総数: 大学生・大学院生に対する民間企業の求人総数
求人倍率: 求人総数を民間企業就職希望者数で割ったもの

大卒・短大卒の就職者は約7割

【大学・短大卒業後の進路状況】

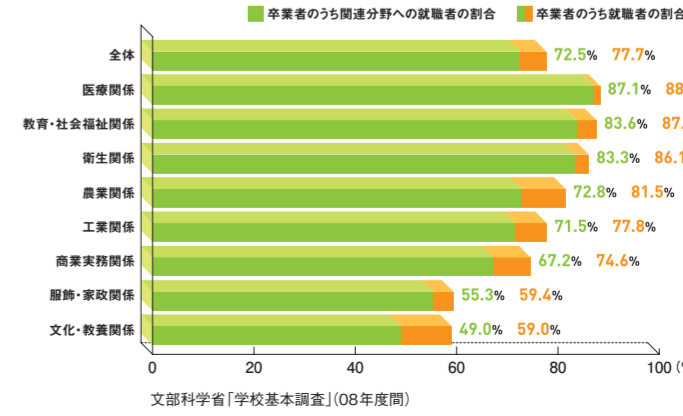


DATA 03

専門学校 卒業後の進路は？

専門卒の就職率は大卒上回る

【専門学校卒業者の就職状況】



専門学校卒業者に占める就職者の割合は77.7% (08年度間)で、大卒者の就職率68.3% (09年3月)を上回る。また、学んだ内容と関連する分野への就職率が72.5%と高いも特徴だ。専門学校の実践的な教育が就職につながりやすいと言えるだろう。